	評価項目	採点	評価基準(着眼点)	評価(審査)に係る提出書類
分類1 履行実績等	1 基本的認識	最高 5点	本業務の目的について十分理解しているか。 目安:「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十 分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	企画提案書
	2 業務遂行能力		業務の遂行にあたり、必要となる専門性を有した適切な体制がとられているか。また、全体の スケジュール設定が適切なものとなっているか。 目安:「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十 分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	業務体制の概要及び実施方法
	3 類似業務実績	最高 5点	委託業務の実行力を示す類似業務の実績があるか。 目安:「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十 分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	類似業務等実績一覧
	履行実績等計	15 点		
	1 市民に対するアンケート調査・分 析	最高 10点	まちづくり戦略ビジョンについての市民アンケート調査の実施手法やアンケート調査結果の整理・分析手法や考え方のほか、必要サンプル数の考え方が市民ニーズの把握の観点等から適切なものとなっているか。 目安:「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	
	2 過年度分の市民アンケート結果も 含めた経年変化等の分析	見立 20占	過年度分のアンケート結果も含め、各年度やこれまでの経年変化について、今後の札幌市における施策の検討や市民ニーズの把握の観点等から適切なものとなっているか。 目安:「特に優れている」(10割)=20、「優れている」(8割)=16、「普通」(6割)=12、「やや不十分」(4割)=8、「不十分」(2割)=4	
	3 国、他都市、社会情勢、その他特 筆すべき事項の因果関係分析		2の分析結果を踏まえ、国、他都市、社会情勢やその他特筆すべき事項との関連性(札幌市と同じ傾向にあるのかという観点等)について、今後の施策を検討するうえで効果的な整理・分析手法となっているか。 目安:「特に優れている」(10割)=20、「優れている」(8割)=16、「普通」(6割)=12、「やや不十分」(4割)=8、「不十分」(2割)=4	企画提案書
	4 上記を踏まえた分析及びアクションプラン成果指標(各施策の進捗状況) を用いた分析	最高 20点	市民評価の整理・分析を踏まえた各施策の進捗状況の整理・分析手法や考え方について、今後 の施策の検討に効果的なものとなっているか。 目安:「特に優れている」(10割)=20、「優れている」(8割)=16、「普通」(6割)=12、「やや 不十分」(4割)=8、「不十分」(2割)=4	
	5 今後のまちづくり戦略ビジョンや 施策の方向性	最高 15点	今後のまちづくり戦略ビジョンや施策の検討にあたって、効果的な検討・検証が可能な整理・分析手法や考え方となっているか。 目安:「特に優れている」(10割)=15、「優れている」(8割)=12、「普通」(6割)=9、「やや不十分」(4割)=6、「不十分」(2割)=3	
	企画提案内容計	85 点		
	委員1人当たりの配点合計(A)	100 点		
委員	4~7人(※1)による総配点数(A×4~7人)	400点~700点	〔最低基準評価点240点〜420点(総配点数の6割)〕	

[※] 審査(評価)事務を円滑にかつ早期に審議する目的から、評価点の満点等にあっては、評価に携わった実際の委員(出席者)数によって変動する場合がある。

[※] 中間点(20点満点を17点とする等)による採点も可とする。